

トホクのナス栽培方法

発芽適温：20～30℃ 生育適温：20～30℃
土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害：3～4 年あける

1. 作物特性

ナスは連作を嫌いますから同じナス科のトマトやジャガイモ、ピーマンなどの連作も避け、3～4年の間隔をあけます。栽培が長期に及ぶので地力のある日当たりの良い畑を選びます。またナスは木の勢いが衰えると良い実を成らせることができません。有機質肥料なども使って肥料切れを起こさないよう注意して観察することがポイントです。

2. タネまき

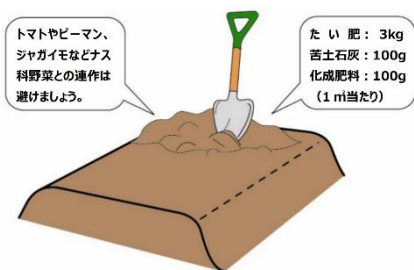
直径 10～12cm のポットに約 5mm の深さにタネを数粒まき、発芽まで乾燥させないよう、ただし過湿にならない程度に管理します。



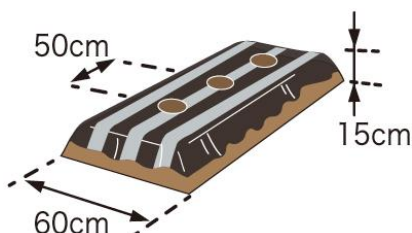
発芽したら間引いて 1 本立ちにします。育苗中は十分に日光に当て、葉が厚く節間の短いがっちりとした苗を作りましょう。育苗中は乾き過ぎないようにかん水し、週に 1 回程度薄い液体肥料を与えます。本葉 6～7 枚になり最初の花が咲いた頃が植えつけ適期です。

3. 植えつけ

ナスは連作を嫌いますから、3～4 年の間隔をあけます。



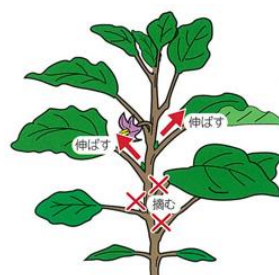
雑草防除と土壌水分保持のためにマルチを張っておきます。株間は 50cm 以上が理想的です。



植えつけ時に苗の周囲がやや高めになるように土を戻します。ナスはなるべく地温が高い方が根付きも良いので、数日前にマルチを張っておき、天気の良い日を選んで植えつけましょう。

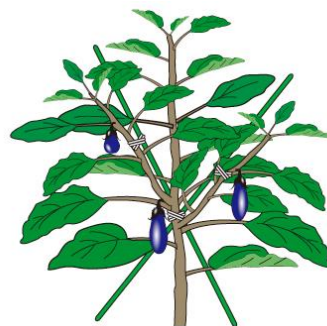
4. 栽培管理・収穫

植えつけた苗がぐらつかないようにすぐに短い支柱で支えます。ナスは最初に咲いた花(1 番花)のすぐ下のわき芽を 2 本伸ばして、主枝と合わせて 3 本仕立てにします。



その後出てくる他のわき芽は早めに摘み取ります。伸ばしたわき芽が伸びてきたら枝に沿うように支柱を斜めに立て、その後この側枝を支柱に固定します。

花が咲いてから 3 週間位から収穫ができます。ナスは生育期間が長いので、肥料切れにならないように注意します。実がなり始めたら 2 週間おきに 1 株当たり化成肥料 50g を追肥します。



5. 切り返し剪定 (せんてい)

8 月に枝を先端から約半分の位置で剪定し、株の周囲を深く耕し追肥します。やがて元気なわき枝が出て美味しい秋ナスが収穫できます。



●栽培例		●まく時期												●収穫く時期											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地																									
中間地																									
暖地																									